

学生募集中止・閉校のお知らせ

平素より日本赤十字社助産師学校の教育運営に関しまして、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、このたび本校は、令和 9（2027）年度以降の学生募集を中止し、令和 9（2027）年 3 月 31 日をもって閉校することを決定いたしました。

大正 11(1922)年、日本赤十字社は、平事業として母子保健の充実を図る目的で日本赤十字社産院を開設致しました。併せて本校の前身となる「日本赤十字社産院産婆養成所」を産院の付帯事業施設として開校致しました。開校以来、100 年以上が経過し、国内外で活躍する 3300 余名の卒業生を社会に輩出してまいりました。

近年、日本は経年的に少子化が進行してまいりましたが、コロナ禍以降、その進行にはより拍車がかかり、令和 6（2024）年の出生数は約 68 万人にまで減少したことが報告されたところです。その余波は、助産師を養成する本校の教育にも大きな影響をもたらし、規程に基づく「助産師学生一人につき十回程度」の分娩確保が年々、難しい状況となっております。これまで、本校存続のためにあらゆる可能性を模索し、将来のありかたについて慎重に検討を重ねてまいりましたが、学生の皆様への教育の質を保証し、現状のまま安定的に学校を運営することは難しいとの判断に至りました。余力をもって入学生をお迎えし、卒業へと導ける時期を令和 8（2026）年度末と見極め、閉校という苦渋の決断に至りました。

令和 9 年度以降、本校の受験を予定されていた皆様におかれましては、大変、申し訳なく心よりお詫び申し上げます。今後は、令和 8（2026）年度に入学される学生の方々を含めたすべての在学生の皆様が、卒業されるまでの期間、充実した学生生活を送れますよう教職員一同、一丸となり教育に万全を尽くす所存であります。また、就職支援や進路確保にも誠意をもって対応してまいりますので、この度の決定に関しましてはご理解賜りますようお願い申し上げます。

本校の教育にご理解とご支援を賜りました関係者の皆様におかれましては、突然の報告となりましたことをお詫び申し上げますとともに、本校閉校までの期間、変わらぬ御支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

令和 7 年 7 月 1 日

日本赤十字社助産師学校

学校長 中島 淳